オペレーティングシステム 第1章 オペレーティングシステムとは

オペレーティングシステムの役割

拡張マシンとしてのオペレーティングシステム ハードウェア管理プログラムとしてのオペレーティン グシステム

オペレーティングシステムの歴史

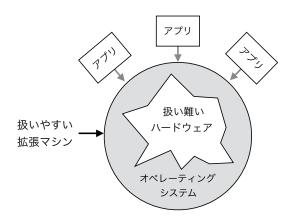
第1世代(1945~1955, 黎明期)

第2世代(1955~1965, トランジスタ)

第3世代(1966~1980, ICとマルチプログラミング)

第4世代(1980~, PCの時代)

拡張マシンとしてのオペレーティングシステム



- ▶ 抽象化(ファイル、プロセス)
- ▶ 拡張マシン (システムコール)

ハードウェア管理プログラムとしての オペレーティングシステム

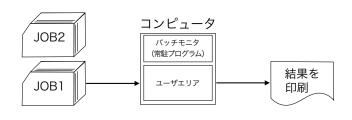


- ▶ 仮想化
- ▶ 時分割多重による仮想化
- ▶ 空間分割多重による仮想化

第1世代

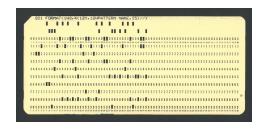
- ▶ 真空管
- ▶ オペレーティングシステムなし
- ▶ 巨大 TeC 状態?

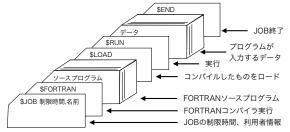
第2世代(バッチ処理, その1)



- メインフレーム
- ▶ バッチ, バッチ処理
- バッチモニタ
- ▶ JOB 制御言語(JCL: Job Control Language)
- ▶ 実行モード
- ▶ システムコール
- 記憶保護

第2世代(バッチ処理, その2)





- ▶ 紙カード
- ▶ JOB の構成

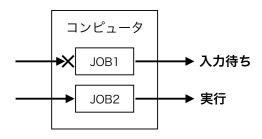
第3世代(メインフレーム)



フォルクスワーゲンで使われる System/360 ウィキメディア / Bundesarchiv, B 145 Bild-F038812-0014 / Schaack, Lothar / CC-BY-SA 3.0 de

- ▶ IBM System/360, シリーズ化
- ▶ 仮想記憶

第3世代(マルチプログラミング)



- ► OS/360
- MULTICS (MULTiplexed Information and Computing Service)
- ▶ UNIX (ユニックス)
- DynaBook

第3世代(タイムシェアリング: TSS)

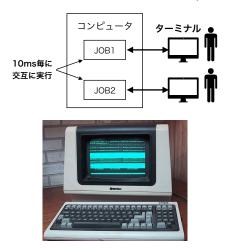


写真: http://commons.wikimedia.org/wiki/File:Televideo925Terminal.jpg (パブリックドメイン)

- ► TSS (Time Sharing System)
- ▶ ターミナル

次の世代に向けて (DynaBook)

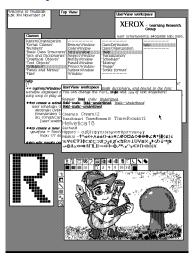


写真:ウィキメディア / SUMIM.ST /

Alto や NoteTaker で動作したアラン・ケイ達の暫定 Dynabook 環境 (Smalltalk-76、同-78 の頃) / CC-BY-SA 4.0

▶ GUI, マウス, パーソナルコンピュータ



IBM PC



写真: IBM PC ウィキメディア / Bundesarchiv, B 145 Bild-F077948-0006 / Engelbert Reineke / CC-BY-SA 3.0 de

- ▶ 16bit, 32bit, 64bit
- ► IBM PC (MS-DOS, Windows)
- ▶ 互換機

Apple Macintosh



写真: 初代 Macintosh ウィキメディア / w:User:Grm wnr / File:Macintosh 128k transparency.png /GFDL

- ▶ 16bit, 32bit, 64bit
- ► Macintosh (MacOS, MacOS X, OS X, macOS)



オペレーティングシステムの系統図

